

県立高等学校の再編整備について

令和3年1月15日に開催された教育委員会会議において、次のとおり県立高等学校の再編整備を行うことが決定されました。

- 令和4年度から安芸高等学校と呉昭和高等学校の生徒募集を停止する。

学校名	令和3年度	令和4年度
安芸高等学校 呉昭和高等学校	総合学科2学級 普通科2学級	募集停止

理由

- 中学校第3学年在籍者数がピーク時の半数程度まで減少している一方で、中山間地域以外の地域では、学校数がほとんど変わっておらず、全体として学校規模が縮小し、「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」（平成26年2月策定）で学校規模の基本として示している1学年4～8学級の範囲内を下回る学校が増加している。
- 学校の特色を生かした活力ある教育活動を積極的に展開していくためには、特に中山間地域以外の地域について、学校規模の適正化に早急に取り組んでいく必要がある。
- 両校は、生徒急増期の対策として、開校（安芸高等学校：昭和49年度、呉昭和高等学校：昭和58年度）した学校であるが、広島市東区内、及び呉市内の公立中学校第3学年在籍者数はピーク時の半分以下まで減少している。
- 現状において、1学年4学級～8学級の範囲内を下回る学校であり、また定員割れが生じている実態がある。
- 開校当時と比べて、両校の近隣にある中学校から進学した生徒の割合は大きく減少している。
- 当該中学校の通学区域は交通至便な場所に位置しており、その地域からの通学は、近隣の高等学校まで、その距離、公共交通機関の状況等から、十分可能である。

《今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画（H26.2）抜粋》

【基本的な考え方】

- 地域のニーズや生徒・保護者の希望等に応えることができる学校を適正に配置することが必要。
- 中山間地域以外の地域は、1学年4～8学級の範囲内を基本とする。

【取組の方向性】

- 中山間地域以外の地域の学校については、生徒急増期に高等学校が新設された後、生徒減少に転じた後も、学校数がほとんど変わっていない状況であることから、今後の生徒数の減少に対しては、1学年4～8学級規模の学校を含め、統廃合を検討する。

県立高等学校の再編整備について

1 県立高等学校を取り巻く状況

- 令和2年度の中学校第3学年在籍者数は、ピーク時の半数程度まで減少している。本県では、生徒急増期に県立高等学校（全日制本校）の新設等を行い、生徒急減期には、募集停止・統合等を実施しているが、そのほとんどが中山間地域を中心に行い、中山間地域以外の地域は入学定員を減じることで対応してきている。この結果、中山間地域以外の地域では、中学校第3学年在籍者数のピーク時と比較して学校数がほとんど変わっておらず、全体として学校規模が縮小し、「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」（平成26年2月策定。以下「基本計画」という。）で学校規模の基本として示している1学年4～8学級の範囲内を下回る学校が増加している。
- 県立高等学校において、学校の特色を生かした活力ある教育活動を積極的に展開していくためには、特に中山間地域以外の地域について、学校規模の適正化に早急に取り組んでいく必要がある。

	昭和45年度	昭和63年度	令和2年度
中学校第3学年在籍者数	36,623人 (生徒急増初期)	48,780人 (在籍者数ピーク)	24,561人 (現在)
学校数	61校	90校	79校
中山間地域以外の地域	38校	57校	54校
1学年3学級以下の学校	2校	2校	12校
1学年4～8学級の学校	24校	28校	42校
1学年9学級以上の学校	12校	27校	0校
中山間地域	23校	33校	25校

※学校数は、記載年度の中学校第3学年在籍者が高等学校に入学する年度（S46, H元, R3）の県立高等学校数（全日制本校）

2 今後の県立高等学校の在り方について

《基本計画（H26.2）》

【基本的な考え方】

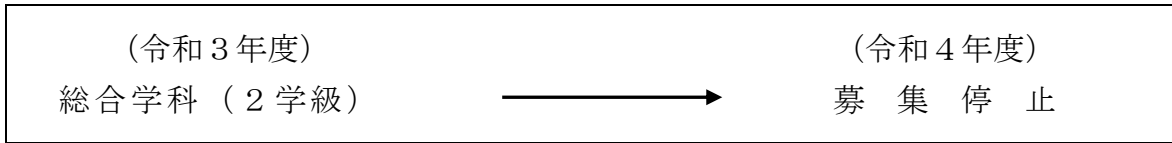
- 地域のニーズや生徒・保護者の希望等に応えることができる学校を適正に配置することが必要。
- 中山間地域以外の地域については、1学年4～8学級の範囲内を基本とする。
- 中山間地域については、1学年2～6学級の範囲内を基本とする。

【取組の方向性】

- 1学年3学級以下の学校については、授業交流等による学校間の連携や地域と連携した特色づくり等の活性化を図る。
- 1学年1学級規模の全日制高等学校については、「学校活性化地域協議会」を設置し、活性化策を検討する。
- 中山間地域以外の地域については、生徒急増期に高等学校が新設された後、生徒減少に転じた後も、学校数がほとんど変わっていない状況であることから、今後の生徒数の減少に対しては、1学年4～8学級規模の学校を含め、統廃合を検討する。

3 安芸高等学校の生徒募集の停止について

令和4年度から、安芸高等学校（昭和49年度開校 全日制課程総合学科）の生徒募集を停止する。



【生徒募集を停止する理由】

- (1) 安芸高等学校は、生徒急増期の昭和49年度に広島市東区内に開校した学校であるが、東区内の公立中学校第3学年在籍者数はピーク時の半分以下まで減少している。
- (2) 現状において、基本計画で学校規模の基本として示している、1学年4～8学級の範囲内を下回る学校であり、また定員割れが生じている実態がある。
- (3) 開校時と比べて、同校の近隣にある中学校3校（福木中、温品中、二葉中）から進学した生徒の割合は大きく減少している。
- (4) 当該中学校3校の通学区域は交通至便な場所に位置しており、その地域からの通学は、広島市内及び安芸郡内の高等学校まで、その距離、公共交通機関の状況等から、十分可能である。
- (5) このような状況を踏まえ、平成26年2月に策定した基本計画に基づき、十分な教育効果があげられる教育環境を整備する観点から、中山間地域以外の地域における適正な学校規模を確保するとともに、学校の配置の適正化を図るため、令和4年度から生徒募集を停止する。

① ≪広島市東区内の公立中学校（近隣にある中学校3校を含む）第3学年在籍者数≫

		昭和63年度	令和2年度
広島市東区	公立中学校 第3学年在籍者数 (5/1基本数)	2,015人 (在籍者数ピーク時)	855人

② ≪令和2年度在籍者数（令和2年5月1日現在）≫

区分	1年	2年	3年	合計
在籍者数	91	95	99	285

③ ≪入学状況等≫

区分	S49年度	H元年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
入学定員	360	423	160	120	120	120
入学者数	360	418	140	109	109	91
定員割れ	0	5	20	11	11	29

※H元年度は入学者数のピーク

④ <近隣にある中学校3校（福木中，温品中，二葉中）から安芸高等学校への進学率>

区 分	S50 年度	H 元年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 2 年度
中卒者数	582	1,048	475	451	439	467
進学者数	136	184	55	40	40	27
地元進学率	23.4%	17.6%	11.6%	8.9%	9.1%	5.8%

※H 元年度は近隣にある中学校3校卒業生数のピーク

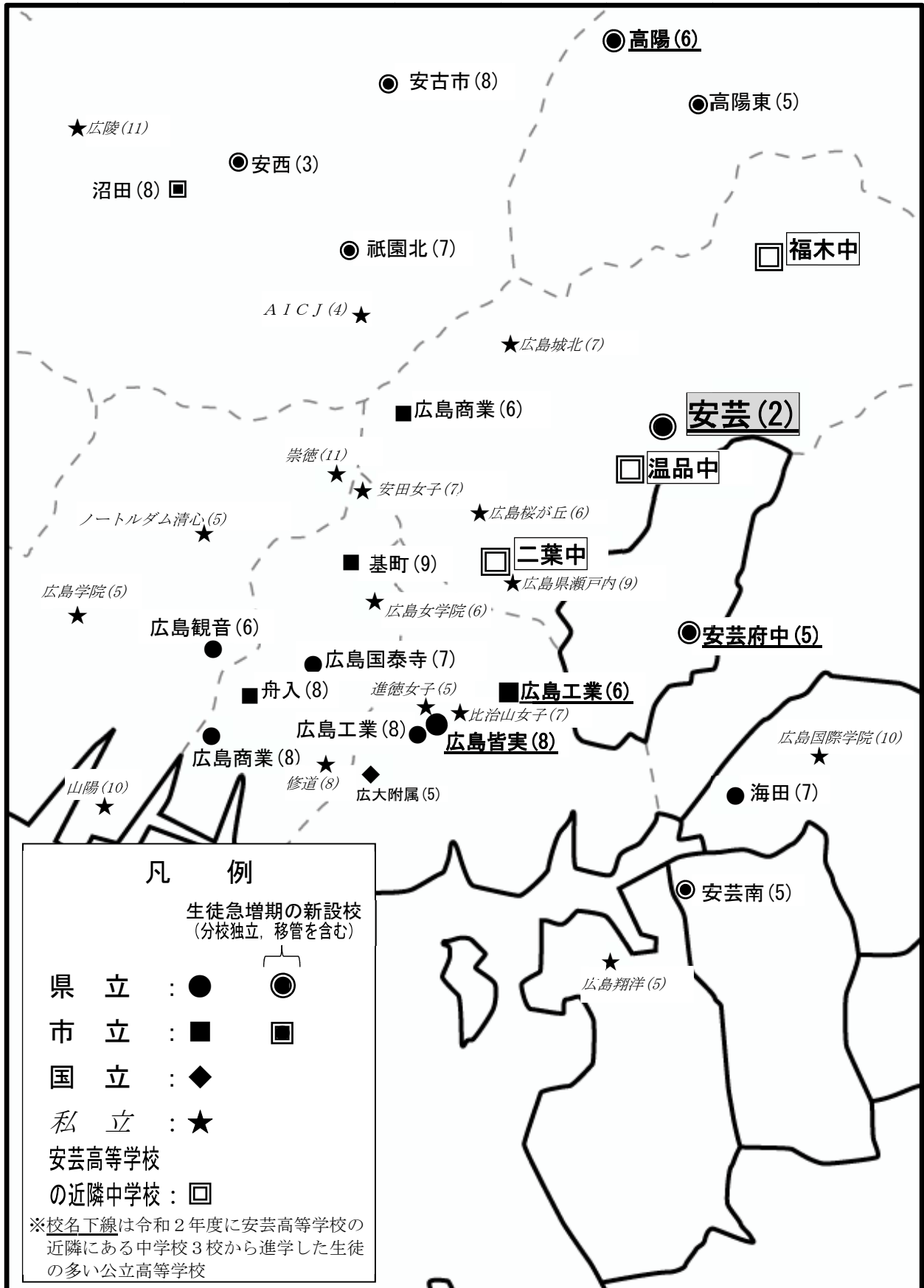
⑤ <近隣にある中学校3校（福木中，温品中，二葉中）卒業生の進路状況>

学校名		S50 年度	H 元年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 2 年度
東区	安芸高等学校	136	184	55	40	40	27
安佐 北区	高陽高等学校	—	11	16	17	12	20
	高陽東高等学校	—	13	13	12	12	14
南区	広島皆実高等学校	(不明)	27	17	23	20	23
	市立広島工業高等学校	25	27	28	24	19	25
安芸郡	安芸府中高等学校	—	161	45	44	47	48
上記以外の県内公立高等学校（全日制）		153	201	105	114	100	106
その他（私立学校等）		268	424	196	177	189	204
計		582	1,048	475	451	439	467

※H 元年度は近隣にある中学校3校卒業生数のピーク

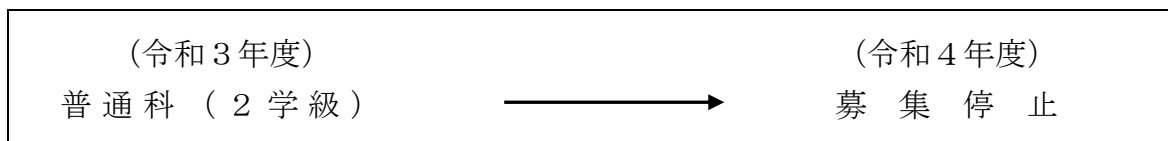
安芸高等学校周辺図（全日制高等学校等）

※ 校名横（）内は令和3年度入学定員（学級数）



4 呉昭和高等学校の生徒募集の停止について

令和4年度から、呉昭和高等学校（昭和58年度開校 全日制課程普通科）の生徒募集を停止する。



【生徒募集を停止する理由】

- (1) 呉昭和高等学校は、生徒急増期の昭和58年度に呉市内の昭和地区に開校した学校であるが、呉市内の公立中学校第3学年在籍者数はピーク時の半分以上まで減少している。
- (2) 現状において、基本計画で学校規模の基本として示している、1学年4～8学級の範囲内を下回る学校であり、また定員割れが生じている実態がある。
- (3) 開校当時と比べて、同校の近隣にある中学校2校（昭和中、昭和北中）から進学した生徒の割合は大きく減少している。
- (4) 当該中学校2校の通学区域は交通至便な場所に位置しており、その地域からの通学は、呉市内及び安芸郡内の高等学校まで、その距離、公共交通機関の状況等から、十分可能である。
- (5) このような状況を踏まえ、平成26年2月に策定した基本計画に基づき、十分な教育効果があげられる教育環境を整備する観点から、中山間地域以外の地域における適正な学校規模を確保するとともに、学校の配置の適正化を図るため、令和4年度から生徒募集を停止する。

① ≪呉市内の公立中学校（近隣にある中学校2校を含む）第3学年在籍者数≫

		昭和61年度	令和2年度
呉市	公立中学校 第3学年在籍者数 (5/1基本数)	5,035人 (在籍者数ピーク時)	1,686人

② ≪令和2年度在籍者数（令和2年5月1日現在）≫

区分	1年	2年	3年	合計
在籍者数	63	77	56	196

③ ≪入学状況等≫

区分	S58年度	S59～62年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
入学定員	315	376	80	80	80	80
入学者数	315	376	80	59	80	63
定員割れ	0	0	0	21	0	17

※S59～62年度は入学者数のピーク

④ ≪近隣にある中学校2校（昭和中，昭和北中）から呉昭和高等学校への進学率≫

区 分	S58 年度	S62 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
中卒者数	611	763	399	326	348	318
進学者数	145	128	46	30	52	41
地元進学率	23.7%	16.8%	11.5%	9.2%	14.9%	12.9%

※S62 年度は近隣にある中学校2校卒業生数のピーク

⑤ ≪近隣にある中学校2校（昭和中，昭和北中）卒業生の進路状況≫

学校名		S58 年度	S62 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
呉市	呉昭和高等学校	145	128	46	30	52	41
	呉三津田高等学校	102	121	22	35	36	41
	呉宮原高等学校	54	52	45	39	41	33
	呉工業高等学校	26	34	28	18	13	18
安芸郡	熊野高等学校	2	4	48	25	36	38
上記以外の県内公立高等学校（全日制）		76	139	82	65	73	56
その他（私立学校等）		206	285	128	114	97	91
計		611	763	399	326	348	318

※S62 年度は近隣にある中学校2校卒業生数のピーク

呉昭和高等学校周辺図（全日制高等学校等）

※ 校名横（）内は令和3年度入学定員（学級数）

